

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

## アブラハムへの

かみ

## 神さまのやくそく



<sup>ぶん</sup>  
文: E. Duncan Hughes

<sup>え</sup>  
絵: Byron Unger; Lazarus

<sup>かいさくしゃ</sup>  
改作者: M. Maillot; Tammy S.

<sup>ほんやくしゃ</sup>  
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

<sup>しゅっぱんしゃ</sup>  
出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2007 Bible for Children, Inc.

<sup>きよか</sup> 許可: <sup>たにん</sup> 他人に <sup>う</sup> 売らない限り <sup>かぎ</sup> 限り <sup>はなし</sup> このお話の <sup>また</sup> コピー、又はプリントは、  
<sup>きよか</sup> 許可されています。



なが とき

大こうずいのあと、いつのまにか長い時

けいかく

がすぎました。人々は、ある計画を

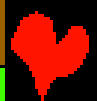
おも

思いつきましたよ。





「そうだ、みんなで天までとどくような高い  
たか まち  
高いとうのあるすばらしい町をつくろうでは  
ないか。」「いつも、みんなでいっしょにく  
とき ひとびと  
らしていこうよ。」その時はね、人々は  
おな はな  
みんな同じことばを話していました。



かみ

ひとびと

かみ

せかいじゅう

す

神さまは、人々が神さまのつくられた世界中のいろいろなところに住んでほし

おも

なに

いなくて思われました。そこで、また何かとくべつなことを  
なさいましたよ。とつぜん、人々が、それぞれにちがうこ

はな だ

かみ

あたら

とばを、話し出したのです。神さまは、みんなに新しい

あた

ことばを、与えられたのです。



おな はな ひと ち  
同じことばを話す人たちは、いっしょになって、ほかの地へうつっていきました。

だってね、たぶんみんなは、おたがいに何を話しているかわからない人たちといっ  
しょにいるのが、こわくなってきたのでしょうね。このようにして、神さまは、

ひとびと くに  
人々がいろいろな国にわ  
になさいました。

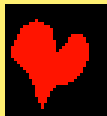
かかれて 住めるよう



ひとびと  
人々  
さ  
が去っていった町は、

まち  
よ  
バベルと呼ばれました。

それはね、「こんらん」という  
い み  
意味なのですよ。



なんねん

かみ

何年かたちました。カルデアのウルというところで、神さまは、アブラム

おとこ はな

というなまえの男の人に話しか

けられました。「アブラム、

ち で い

この地を出て行きなさい。

わたし しめ

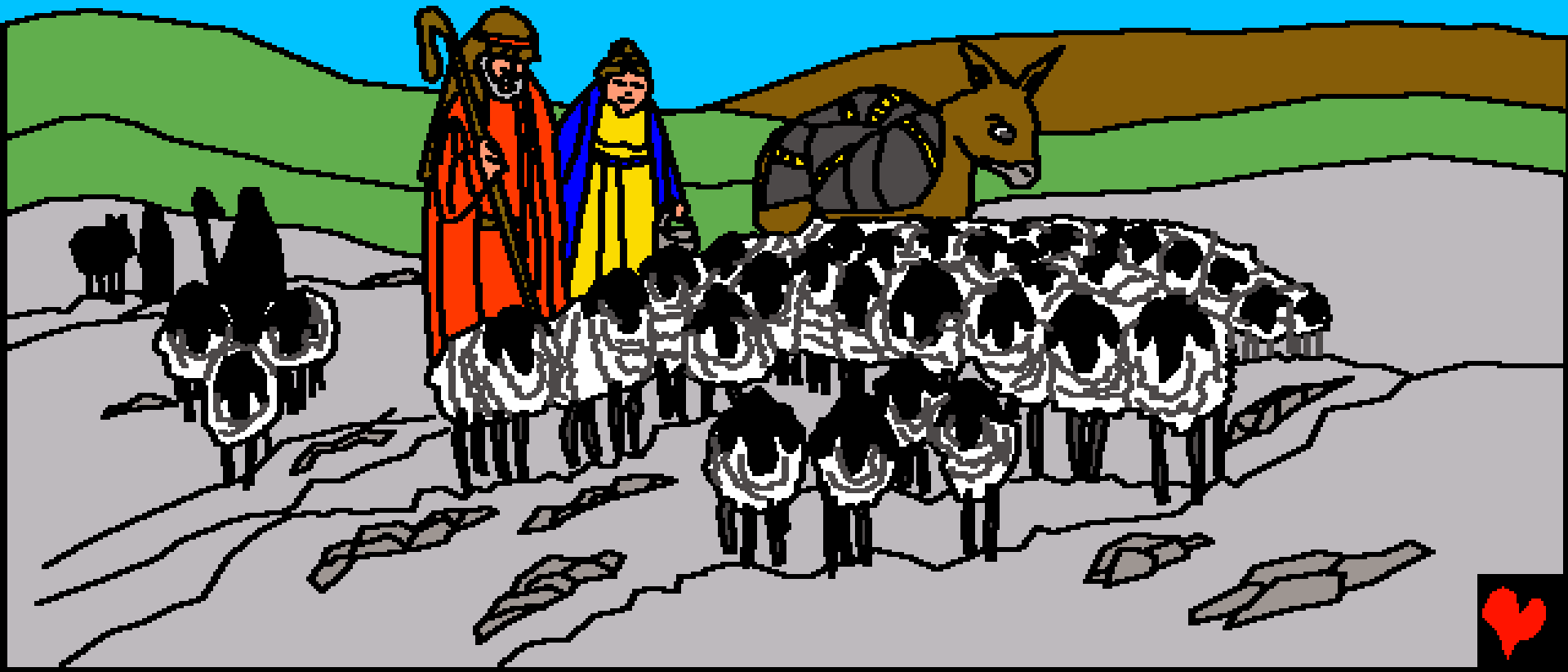
そして 私が、あなたに示

ち い

す地へ行きなさい。」



「はい、わかりました。」アブラムは、すぐしたがいました。神さまは、かれを  
カナンにつれていかれました。アブラムのつまサライと、おいの口もいっしょ  
でしたよ。



カナンでは、アブラムもロトも、とてもゆたかにくらすようになりました。かれらは、たくさんの牛の群れをかっていました。でもね、カナンにはそんなたくさんの動物たちに食べさせる十分な草がなかったのです。



とき

うし

ひと

うし

ひと

ある時、ロトの牛をせわする人たちと、アブラムの牛をせわする人たちが、けんかをしてしまいました。「もうかれらが、けんかをしなないようにしなければ

おも

わか

ば・・・。」そう思ったアブラムは、「わたしたちは、別れよう

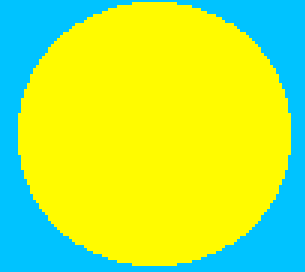
さき

ほうとち

ではないか。さあ、ロト、あなたが先にすきな方の土地をえら

い

んでいいのだよ。」と言いました。



まち むら あおあお

くさ

よ と ち

ロトは、町や村に青々とした草がおおいげっているとても良い土地  
と ち

を、えらびました。その土地は ほんとうにすばらしく  
み まち

見えました。でも、じつは、その町はひどいところでした。

あく

悪がはびこっていたのです。





かみ

はな

ロトがいなくなってから、神さまは、またアブラムに話しかけられました。「アブラム、私は、カナン<sup>ち</sup>のすべての<sup>こども</sup>地を、あなたとあなたの子供たち<sup>こども</sup>にあげよう！いつまでもね。」でも、アブラムとサライには、子供がいなかったのです。神さまは、<sup>かみ</sup> いったいどうやって、

おお

そんな大きなや  
くそくを、まもる  
ことができるの  
でしょうか。





かみ

さんにん

神さまからの三人のみつかいが、アブラムとサライのところにやってきましたよ。

い

あか

みつかいたちは、言いました。「サライ、あなたにもうすぐ赤ちゃんが、

う

生まれるでしょう。」





サライはわらって、

かみ

きゅうじゅつ

神さまからのことばを、しんじませんでした。だって、サライは、もう九 十さい  
になっていたのですから。神さまは、またこう言われました。「アブラムは、これ  
からアブラハム（さんび ちち よ 賛美される父）と呼ばれるだろう。サライはサラ（おうじよ 王女）  
と呼ばれるだろう。」





かみ

神さまは、またアブラハムに、「悪が

ふた まち

はびこっている二つの町、ソドムとゴ

い

モラをほろぼしてしまおう。」と言わ

れました。でも、アブラハムのおい

かぞく

す

トとかれの家族は、ここソドムに 住

んでいたのです。

あく



まち

いよいよ町がほろぼされると

かみ

き、ロトは、神さまからの

しん

ちゅうこくを信じ、ソドムの

まち さ

町を去りました。けれども、

おっと

ロトのむすめの夫たちは、

まち

さ

ソドムの町から去ろうとしませんでした。ああ、なんてかなしいことでしょう。かれら

かみ

は、神さまからのことばをしんじなかったのですから。



ふたり

ただ、ロトとかれの二人のむすめたちだけ

あんぜん

安全なところに、たどりつくことができました

ひ

あく

した。ものすごい火とイオウが、悪でいっば

まち

いの町を、すっぽりのみこんでしまいました

た。



つま たす

かなしいことに、ロトの妻は、助かりませ

かみ

んでした。なぜって、神さまのちゅうこくを

き

はし

聞かないで、走っているとちゅうでうしろを

ふりかえってしまったからで

つま

しお

す。ロトの妻は、塩のはしら

になってしまったのです。



しゅ かみ

主なる神さまは、アブラハム  
とサラのやくそくを、きちん  
とまもられましたよ。そうで

とし

す。かれらは、とても年を  
とっていたのですけれど、

こ う

子どもが生まれたのです。

かみ い

神さまが言われていたよ

う

うにね。イサクが生まれたと  
き、アブラハムとサラは、ど  
んなにかうれしかったこと  
でしょう。





たぶん、このときアブラハ

かみ まえ

ムは、神さまが前にアブラハムに

い こ

言われたこと、かれと子どもたち

ち

にカナン<sup>の</sup>地をえいきゆうにくだ

おも だ

さるというやくそくを、思い出し

かみ

たでしょう。神さまは、そのや

くそくもまた、まもってく

ださるでしょう。

かみ

そう、神さまはね、

やくそくしたことは、

いつもちゃんとまもってくださ

るのですよ。



かみ  
アブラハムへの神さまのやくそく

かみ み せいしょ する  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう  
創世記 11 章 -21 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っています。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくい、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ しゅうじかじょう な  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ  
しん  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
わたし なか き つみ わたし いま  
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

